

パウダーコーティング

2023年 新年号

Vol.23 No.1



パウダーコーティング

2023 年新年号

巻頭言

新年のご挨拶	6
	坂井 秀也
新年のご挨拶	7
	宮越 一郎
持続可能な社会の実現を目指す SDGs (7)	9
	奴間 伸茂
トピックス	
ジャパンビルド 高機能建材・住設 EXPO に出展して	13
	近藤 旭
メッセナゴヤ 2022 に出展しました!	15
	前島 靖浩
コーティング・ジャパン 2022 東京展参加結果	17
	立花 敏行

<組合便り他>

日本パウダーコーティング協同組合より新年のご挨拶	26
組合便り	
2022 年 (令和 4 年) 10 月 - 12 月の主な組合活動報告	28
新規入会組合員のご紹介	
株式会社 ウチダ	32
株式会社ヒバラコーポレーション報道発表	34
Q州たより 002	37
後付	39

編集委員会

顧問	河合 宏紀 (カワイ EMI)	
編集委員	壺岐 富士夫 (日鉄防食株)	竹内 学 (茨城大学)
	佐川 千明 (関西ペイント株)	桜井 智洋 (コーティングメディア)
	野村 孝仁 (日本ペイント・インダストリアルコーティングス株)	
	吉田 誠二 (日本パーカラライジング株)	柳田 建三 (旭サナック株)

掲載広告目次

株式会社ケツト科学研究所	1
AGC 株式会社	2
久保孝ペイント株式会社	3
グラコ株式会社	3
株式会社小野運送店	4
日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社	4
ロックペイント株式会社	5
ナトコ株式会社	5
株式会社三王	20
株式会社板通	21
横浜化成株式会社	21
株式会社明希	22
城南コーテック株式会社	22
株式会社アック	22
筒井工業株式会社	23
大日本塗料株式会社	23
パーカーエンジニアリング株式会社	24
一般財団法人日本エルピーガス機器検査協会	25

NEW 膜厚計 L-500

測定、統計、プリントアウト。
その場で完結。



N=	1	10.9	μm
N=	2	10.8	μm
N=	3	10.5	μm
N=	4	11.3	μm
N=	5	10.9	μm
N=	6	10.9	μm
N=	7	11.1	μm
N=	8	11.2	μm
N=			
--- BLOCK RESULT ---			
BLOCK 025			
Total N 20			
Avg. 49.0 μm			
S.D. 0.3 μm			
Max. 49.6 μm			
Min. 48.4 μm			

■ 印字例

測定結果や統計計算結果を即時に印刷できます。



■ 測定例

手持ちでも平置きでも測定しやすい形状です。

- 高精度・多機能なプリンタ搭載器
- 検量線メモリと調整データ搭載の新型プローブ
- 調整方法などを対話形式で表示する大型ディスプレイ搭載
- 統計計算機能内蔵（ブロック統計・グループ統計/測定回数・平均値・標準偏差・最大値・最小値）
- 上下限アラーム、連続/ホールド測定ほか、多くの機能を搭載

スペック詳細や使い方動画などは、コチラ



Kett

株式会社ケット科学研究所

東京本社 〒143-8507 東京都大田区南馬込1-8-1

西日本支店/北海道営業所/東北営業所/東海営業所/九州営業所

URL: <https://www.kett.co.jp/> E-mail: sales@kett.co.jp

AGC

ECO

ここからはじまるECO
塗料用フッ素樹脂粉体

実績と信頼 



AGC化学品カンパニー
AGC株式会社

100-8405 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング Tel 03-3218-5040 Fax 03-3218-7843 URL <http://www.lumiflon.com>

SINCE 1967
KING of Powder

NISSIN
Powder

国産初の
静電塗装用粉体塗料。
各種産業分野でいち早く
環境保護、省資源化に貢献。

ニッシン パウダー 粉体塗料カラーカードシステム

粉体色見本帳による
受注システム



豊富な塗色を常備在庫

ニッシン パウダー
(ソリッド色) 182色

ニッシン パウダーコートS
(特殊模様塗料) 20色

合計 202色

1カートン (15kg) よりオーダーOK

コンパクトで使いやすく、
模様見本を含め全色掲載

久保寿ペイント株式会社

本社・工場：〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路3丁目15番27号 TEL (06) 6815-3111 FAX (06) 6323-5881
関東営業所 TEL (048)660-1200 FAX (048)660-1202 九州営業所 TEL (092)411-7011 FAX (092)411-7041
名古屋営業所 TEL (052)261-1125 FAX (052)261-1135 <http://www.kuboko.co.jp>



自動ガン OptiGun GA03



これまでに類のない驚異的な塗装性能
塗料の大幅削減を約束
際立った定量供給を実現
安定した塗装品質を提供
内面自動塗装の世界を変える



GA03用ポンプ
OptiSpray AP01

Gema



<http://www.gemapowdercoating.com>



グラコ 株式会社
ゲマ事業部

〒224-0025 横浜市区都筑区早瀬1-27-12
TEL: 045-593-7335 / FAX: 045-593-7336

塗料の運搬を始めて 110余年 !

創業明治二十九年

**危険物運搬、塗料系の
廃棄物収集運搬はお任せ下さい**

TEL・FAXにて 当社の産業廃棄物依頼表をご請求下さい
すぐにお送りいたします。

小缶からドラム缶
粉体フレコンバッグも処理します
廃材、ビニールシート廃ローラー、ウェスなどの産廃物も収集いたします
電着槽 塗装ブースの清掃も承ります



収集運搬費・処理費用は別途ご相談に応じます

お客様の気持ち運ぶ

東京都塗装工業協同組合、東京都塗料商業協同組合
埼玉県塗料商業会、日本塗料商業組合神奈川県支部
神奈川県工業塗装協同組合 埼玉県工業塗装協同組合

指定業者

東京都 品川区南品川4丁目2番33号
まずは ご連絡下さい <http://www.ono-unso.co.jp/>
営業担当 里吉まで

TEL 03-3474-2081
FAX 03-3474-2838



株式会社小野運送店



1 Kg からオーダーメイドできる粉体塗料

耐候性向上タイプ新発売!

超小口短納期調色粉体塗料

アルファ

ビリュージア アルティイカラー α

PERFORMANCE



1Kg から発注OK!



オーダー色を短納期で
お届け致します
(当社通常粉体塗料よりも短納期でお届けいたします)



粉体塗料を混合し
お好みの色に調色できます

QUALITY



超微粒子により塗膜外観に優れ、
美しい仕上がり肌が得られます



無溶剤で環境に優しい粉体塗料
RoHS 指令対応



耐候性に優れています
(ビリュージア アルティイカラー α 対比)



日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社

〒140-8675 東京都品川区南品川4-1-15 TEL 03-3740-1130



工業用塗料

<http://nipponpaint-industrial.com/>

470ツク[®]

超美粧性粉体塗料

第3世代
HAA
粉体塗料

つや消し性と

高平滑性の両立

▶推奨用途

- デスク
- ロッカー
- 配電盤
- 発電機
- 間仕切り
- 什器
- 照明機器
など



ロックペイント株式会社

詳しい使用方法等については、最寄りの営業所へお問い合わせください。

東京営業部 / 〒136-0076 / 東京都江東区南砂2丁目37番2号
TEL (03)3640-6000 FAX (03)3640-9000
大阪営業部 / 〒555-0033 / 大阪市西淀川区堀島3丁目1番47号
TEL (06)6473-1650 FAX (06)6473-1000

ロックペイントのホームページ <http://www.rockpaint.co.jp>

エコな粉、ええコナ

粉体塗料

エコナ[®]

1ケースからの少量・短納期を実現
特長ある品種

- 薄膜・高平滑タイプ
- 低温硬化タイプ
- ヤニ臭改善型 (PRTR 法対応)
- 高耐候性タイプ
- 艶消しタイプ
- ファインレザータイプ、
レザーサテンタイプ
- エッジカバータイプ



ユニークな発想で新しい価値を創造する◎

ナトコ株式会社

〒470-0213 愛知県みよし市打越町生真山18

営業管理 TEL 0561-32-9651 FAX 0561-32-9652

支店 中部(愛知)・東部(埼玉)・西部(大阪)・西南部(福岡)



新年のご挨拶

坂井 秀也*

新年あけましておめでとうございます。

日本パウダーコーティング協同組合の皆様におかれましては、2023年の新春をお健やかに迎えになりましたことと心より喜び申し上げます。また、弊会の活動に日頃より多くのご指導ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

近年、新たな科学技術の進展により利便性や快適性の恩恵が得られる時代である一方、自然環境の破壊と醜い争いによって、その影響があらゆる地域に蔓延しています。特に地球温暖化の主因の一つである「ノーリターン資源」からの転換が注視されており、ある面においては時代を遡る意識改革までもが問われています。自分たちの生活レベルを見なおすことは非常に難しい面がありますが、このように、環境問題やリサイクルといった点では、日本人の「もったいない」精神が世界共通語となっているように西欧の生活様式にも、ある具合の悪いところを事前に直してモノを大事に使うように、次第に消費者意識が変わっていくこともあります。ここに、作る側も、回収して分離・加工して再利用しやすいようなモノづくりが進んでおり、最後まで作ったものの面倒を見ることが求められています。

また、塗料・塗装では、モノの機能維持を持続可能な「再塗装」がサステナブル社会に対応されており、自己修復、遮熱、自動運転支援などの新たな塗膜の能動効果などが最適事例であり、あらゆる分野で社会貢献度の高い存在となっています。そして、IPCOは塗料・塗装業界の受発信基地を目指しており、IPCOスタディや合同会議の参加者による協業化も生まれており、それぞれの立場とメリットを高めています。

最近のLCA追求から、素材や加工においてそのプロセスまでメスが入る時代となっているため、環境適

応型である粉体塗装の採用効果を訴求することが注視されます。過去に薄膜化・低温硬化の確認実験として、紙への粉体塗装を試み、被塗物の用途拡大や省エネなどの塗装条件の確認をおこなっております。今後も、さらなる技術開発により、粉体塗装への適用が拡大されることに期待しております。

このような動きに対しては、モノの流れを把握する上で『つくる→塗る』の各段階における情報の共有化が必要不可欠となります。特に、環境対応を推進するには、このワークジョイントを高度化させていかなければなりません。そこには塗料・塗装業界のみならず関連分野からの参加も求めた場として、IPCOは事業活動しております。

昨年7月には、塗装業界の繋がりより高度に実践するため、一般社団法人日本塗料工業会（JPMA）、日本塗装機械工業会（CEMA）そしてIPCOも参加して、コーティング・コンソーシアム（CoCo）がスタートしました。まず「塗料・塗装におけるLCAへの取り組み」として工業塗装事業所様向けのアンケートに着手します。この構想には、次世代への提案を主とした課題抽出が基本であり、塗料・塗装業界の躍進と従事者の希望を目標としております。

日本の歴史に培われた「漆」にみられる感性と耐性、「重防食」を担う力などから得られる塗膜は、生活用品、工業製品、社会資本財に至るまで用途は異なりますが、『つくる→塗る』は共通テーマであり、さらなる探究によりその存在価値を高めていくことが、現在携わるものとしての使命と言えます。

最後に、この一年も、貴会のさらなるご活躍並びにご繁栄と会員みなさまのご健康と御事業のご攻勢を祈念して、年頭の挨拶とさせていただきます。

* 一般社団法人国際工業塗装高度化推進会議 理事長（技術士）

新年のご挨拶

宮越 一郎*

皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃より我々アルミニウム合金材料工場塗装工業会（以下ABA）の活動に対しご理解とご協力いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。本年も何卒ご指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。

昨年の我国経済は、世界的な高インフレと欧米各国の金利引き上げ政策の影響を受け、コロナ危機からの景気回復は鈍化傾向となりました。またロシアによるウクライナ侵攻の長期化は、原材料価格の高騰や様々なモノの供給制約を生み、世界の不確実性が高まっています。

我々の主材料である塗料・シンナー、さらにはガスや電力等のエネルギー価格も過去に類を見ない上昇幅となりました。皆様におかれましても、このコスト高を受け価格改定やあらゆる経費削減等に奔走され苦労の絶えない年であったことと思います。本年に入ってもこうした状況から改善の傾向は窺えず、先行きの不透明さは増しています。また政府の賃金アップ要請や防衛費アップに関する増税、続く円安等、目の前の経営リスクは増大しているように見えます。

さてこうした中、コロナ禍ではありますが、我々ABAは一部を除き年間の事業計画を進めて来ました。ABAの主たる活動は、様々な場面を通して日本建築仕上学会編纂の「溶剤形塗装標準仕様書・同解説」、粉体塗装仕様標準指針・同解説」の内容に従い、正しい塗装を遵守し当業界をはじめ広くこれらの普及・展開を図ることです。

主な事業として、昨年6月には「第2回工場塗装管理技術者の資格認定講習・試験」、同月「第26回リフォーム&リニューアル建築再生展2022」への出展、12月には「第7回建材・住設EXPO」に出展致しました。どの事業も会員各位の熱意の賜物ですが、特に6月の資格認定講習・試験については、一昨年よりスタートした当会独自の事業であり、(アルミニウムの主に建築材料向けの)工場塗装の品質管理に関する公的な資格制度がこれまでなかったことから、その制度構築に向け実行委員会を立ち上げ、講習テキストや試験問題の作成、関連のルール作り等について、コロナでのロスもありながら、4年余の時間を要して完成しました。工場塗装管理技術者とは、長期間にわたる実務経験と金属や塗料の材料及び塗装技術の十分な知識を有していることが望ましく、さらには塗装以外の建築仕上げ、



資格認定試験会場の様子



建材・住設EXPO2022の様子

建築工事に関する作業内容や施工管理、またISOなどのマネジメント管理について理解していることも必要としています。この2回の試験を経て累計有資格者が21人となりました。会員企業だけでなく、主旨に賛同いただいてもらえる企業様にも、今後受験者を幅広く募り、工場塗装の信頼維持・向上に繋げて行きたいと考えています。

※参考：<https://aba-jp.org/certification/>

同月の建築再生展は当会が毎年恒例参加するイベントとなっていますが、リアル開催は3年ぶりということで楽しみに臨みました。来場者数は2万人とのこと

* アルミニウム合金材料工場塗装工業会 会長

ですが、まだ行動制限があるせいか以前より少なく感じました。12月の建材・住設EXPOは行動制限が緩和され、3万人を超える参加者で賑わいました。当会ブースにも息つく間もなく設計事務所やゼネコン等のお客様が訪問され、良いプレゼンができたのではないかと感じました。

この1年はリモート開催の総会や役員会等、ウィズコロナに沿った活動の反面、やはり色々な情報交換や

親睦会等によるフェイス・トゥ・フェイスの会合の必要性を感じました。今年こそみなさんと顔を合わせた活動を通して、会の活性化や貴組合との交流に注力していきたいと思います。

本年が貴組合のご発展、また皆様の会社のご繁栄並びに皆様のご健勝をお祈り申し上げ、弊会共々引き続きご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます、年頭のご挨拶に代えさせていただきます。
